

「羽田市場」の鮮魚空輸

ANAカーゴ 全国生産者と取引

ANAカーゴは29日、CSN地方創生ネットワーク（東京都大田区、野本良平社長、03・4500・2340）と提携し、CSNが運用を始めた「超速鮮魚羽田市場」で取り扱う鮮魚の空輸を始めること発表した。超速鮮魚羽田市場は、全国の生産者と飲食店が新鮮な魚介類をインター

ネット直接取引し、空港内施設で仕分け最短のリードタイムで流通させるプラットフォーム。ANAカーゴは超速鮮魚羽田市場で売買される魚介類を、羽田の路線ネットワークを生かし、日本国内に加え、アジアにも輸送する。

超速鮮魚羽田市場は、漁師など全国の生

産者と首都圏の飲食店の取引を、自動マッチングさせる独自システムで売買し、羽田空港内の施設で仕分け・加工して、鮮度を保ちながら配達する。市場で値がつかない未利用魚なども積極的に販売する。

ANAカーゴはこの仕組みを物流面でサポートし、第1次産業事業者の所得向上や地方創生につなげる。